



伊場 哲也 議員



教育長の所信及び見解について

問 教育の更なる充実について市の教育をどのように導いていきたいか教育長の所信を伺う。

答 「教育こそがまちづくりの原点」の認識のもと、学校教育・地域社会全体で市の未来を開いていく人材を育成することが重要。その実現に向け、地域住民、関係機関の協力をいただき、体制づくりとコーディネーターの発掘から取り組んでいく。

問 市の教育課題は何で、具体的にどう対応していくと考えているのか教育長の見解を伺う。

答 学校再編、部活動の地域移行等、大きな課題に直面している。地域住民や関係者と十分協議を繰り返し一つ一つ丁寧に進めていく。

医療の充実に向けて

問 市内の小児科医院不足をどのように補おうとしているのか見解を伺う。

答 令和3年度、小児科医院2か所が閉院し、現在、旭中央病院を除くと1か所である。受診対応については「子育てガイド」で周知し、無料相談できる「こども救急電話相談」の利用と「赤ちゃん全戸訪問」でお知らせしている。改善が必要である状況は理解しているため、医師会や旭中央病院等に意見を伺い地域の小児科医療について検討する。

高齢者福祉の充実について

問 介護施設の利用者への支援は十分足りているか。

答 市内の介護施設は16か所。利用料の支援は介護サービス費用の1割負担のほか食費・居住費について低所得者の負担を軽減している。高額負担になった場合は所得に応じ上限額を超えた分が高額介護サービス費として支給される。高齢者が安心して生活できるような財政的な支援がある。

その他の質問事項

- 市営住宅の今後の運営計画
- 農水産業の振興について
- 住民の要望への対応・方策
- 公共交通の路線変更について
- 利便性の高い旭市に繋げていく上でのJ・R・高速バスとの連携
- 旭市立図書館の今後の計画

マチを好きになるアプリ



あさひ議会だよりを
アプリ「マチイロ」で配信しています

スマホで読もう 「あさひ議会だより」

年4回(3月、6月、9月、12月)発行している、あさひ議会だよりを第69号から「マチイロ」で配信しています。あさひ議会だよりと広報あさひの発行をお知らせする機能もあり、いつでも広報誌を見ることができます。

すでに広報あさひを閲覧するために、アプリを利用している人は、そのまま、あさひ議会だよりを閲覧することができます。

「マチイロ」の便利な機能

- 新着情報と連動したプッシュ通知
- 広報誌のオフライン閲覧
- オリジナルコンテンツの配信 など



下記QRコードから
ダウンロードページに
アクセスできます。



iPhone Android

※アプリの使用は無料ですが、通信費は回線ごとの負担になります。

※アプリ内に広告が表示されますが、旭市とは関係ありませんのでご了承ください。



いつでもスマホであさひ議会だより